

死刑廃止に向けた法案の行方

政治の世界は厳しい？

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会（そばの会）
東京都荒川区南千住1-59-6-302

「死刑廃止を推進する議員連盟」（亀井静香会長）による「死刑廃止に向けた法案」が昨年末には公表されるかと思われていたのですが、議員連盟の中でも意見がなかなかまとまらないようです。

議員たちに死刑廃止への思いがあるとはいえ、実際に国会を通せるかどうか、がハードルになっていると聞きます。

このかん、議員連盟では「死刑臨調」を設置して、広く議論を呼びかけることや、死刑と無期の差が大きいとして、無期懲役囚の仮釈放が可能になるまでの期間を20～30年以上（現在は10年）に定める「特別無期徒刑」（仮称）の導入、そして2年程度の死刑執行停止期間を設ける、という案が議論がなされていました。

しかし、「執行停止」などを入れたら国会では絶対に通らないという意見や、一方、それもないければ、死刑を残したままのただの「特別無期徒刑の新設＝重罰化」だけでしかない、という議論が交わされているそうです。

☆☆☆

質問 ストレートに「死刑制度を廃止する」という法案には、なぜ、しないんですか？

議員 それでは絶対に国会を通りません。現在、衆参両議員のうち死刑廃止議員連盟に参加している国会議員は百人を越すとはいえ15～16%です。もちろん、議員連盟に参加していない人が必ずしも死刑賛成、という立場とは限りませんが。

質問 難しい状況だということはわかります。

議員 ですから、死刑の問題をそれほど考えていない人にも、まあ、これなら、と納得してもらえる法案を作る必要があるわけです。極端に言えば、死刑に賛成する人にも受け入れてもらえるような死刑廃止に向けた法案にしなければいけない。

質問 そんなの、無理な話じゃありませんか！

議員 死刑に賛成といっても、そこにはいろんな含みがあります。仮釈放のない終身刑のようなものがあれば死刑はなくてもいいが現状では死刑が必要だ、という人もいるでしょう。そういった人にも、頭から反発されることのない法案でなければなりません。

質問 それにしても、もともと死刑制度に疑問を持っている人たちは、死刑が残虐な刑罰だと反対しているわけでしょう。終身刑というの、残酷な話じゃないですか。

議員 あなたの言いたいことはよくわかります。しかし、政治の世界は厳しいんです。死刑廃止なんて地元で言ったら、票が減ることはあっても増えることはないんです。それでもがんばって、取り組んでいるんです。そういう意味では、ストレートな死刑廃止法案が通るような国会になるかどうかは、みなさんの意思によるわけですよ。次の選挙のときにはぜひ、そういう人に投票してください！

☆☆☆

「死刑廃止を推進する議員連盟」がどのような法案をまとめるのか、まだわかりませんが、ただの重罰化に終わってしまわない、ほんとうに「死刑廃止を推進する」法案にしてほしいと思います。